

長 坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第 3号
(令和3年 5月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

『新風』新しいスタイルの体育大会！！ ～ 令和3年度 第55回 体育大会を終えて ～

去る5月9日(日)、五月晴れの好天のもと、令和3年度第55回体育大会を、無事、開催しました。

今年度の体育大会も半日開催となりましたが、実行委員長の破戸渚彩さんを中心に、限られた日程・種目の中で、どうすれば仲間と共に一つでも多くの競技に参加し、応援で盛り上がり、全校生徒の絆を深めることができるか話し合いを重ね、4つの新種目を取り入れた学級対抗の新しいスタイルの体育大会に挑戦してくれました。

当日は、芸術・科学部の生徒と担当の先生方で製作した、素晴らしい大会スローガンパネルが見守るなか、これまでの練習の成果をいかに発揮し、競技で、演技で、応援で、スローガンに込められた思いを、生徒一人一人の力で表現してくれました。本校の伝統に、新たな歴史が刻まれたと思います。

保護者の皆様、ご来場いただきありがとうございました。生徒の皆さん、感動をありがとう！



『キセキ』奇跡を起こして軌跡を残していこう！ ～ 令和3年度「生徒総会」 ～



先月4月23日(金)、今年度の生徒総会が行われました。中学校では、自分達の学校生活を自分達でより良いものにするために、「生徒会」が組織され、本部役員を中心に、全校生徒が専門委員会活動や学級会活動を行っています。生徒会の最高意思決定機関である「総会」では、本年度の活動方針や各専門委員会の活動計画、各学級からの提案等、様々な議題について、活発な議論がなされました。生徒会活動を通じて、生徒の「自治能力」が育っていることを感じ、たいへん頼もしく、うれしく思いました。特に、本年度は、国連が定めた「SDGs(持続可能な開発目標)」のうちの3項目に係る取組も計画されています。「キセキ ～更なる高みを目指して～」という生徒会スローガンのとおり、今後の様々な取組を楽しみにしています。

できること、やるべきことを確実に ～ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を！ ～

現在、長崎県内も長崎市を中心に、県下全域で感染が拡大し、感染レベルが最高のステージ5(県下全域での感染者の急速な増加)となっており、県下全域に『医療危機事態宣言』が発令されています。

学校でもできる限りの感染防止対策を行っております。ご家庭でも感染防止対策の徹底に最大限のご注意をお願いいたします。学校・家庭・地域、みんなで力を合わせて、感染防止に努めていきましょう。

【長崎県からのお願い(一部抜粋)】

1. マスクの着用、手指消毒の徹底、3密(密閉・密集・密接)の回避
2. 家族以外との会食は控えてください
3. 家庭内でも、具合が悪い方がいる場合にはマスクを着用
4. 無症状でも他に感染させる恐れがあることを自覚し、慎重に行動
5. 県外や長崎市との不要不急の往来は控えてください

